

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(卒業)
授業科目名：学校経営と管理 英語表記：School Management		単位数：2単位 (半期) 講義	担当教員名：山畑昭司 担当形態：単独
ナンバリング：2107			
科目／系 列			
施行規則に定める科目区分 または事項等／教科目		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）／	
【授業の到達目標及びテーマ】			
1. 学校を巡る近年の様々な状況の変化について理解できる。 2. 公教育の目的を実現するための学校経営の望むべき姿を理解出来る。 3. 学級経営の仕組みと効果的な方法を理解できる。			
【授業の概要】			
社会の状況を理解し、子どもをめぐる生活の実態を踏まえ、教育の課題や施策を学校と地域との連携や近隣市町村教育庁の講話を聴き理解する。			
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】			関連性
【知識・理解・技能】			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			○
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			
【思考・判断・表現】			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			○
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			
【関心・意欲・態度】			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			○
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			○
【授業計画】		【授業時間外の学習】	
第1回：オリエンテーション、授業の進め方 第2回：学校（園）とは？経営とは？ 第3回：学校（園）の休憩時間 第4回：子どもを巡る近年の様々な状況（子どもの問題行動） 第5回：子どもを巡る近年の様々な状況（少子化） 第6回：今日的な課題（クレームの実態と対応の基本） 第7回：今日的な課題（クレーム事例をもとに対応を考える） 第8回：学校における危機管理（保育事故の実態と責任） 第9回：ファイリング・チェック、小テスト 第10回：学校における危機管理（保育事故を防ぐ危機管理） 第11回：学校における危機管理（事故事例を通して） 第12回：学校における危機管理（事故事例を通して） 第13回：学校における危機管理（災害事例をして） 第14回：ファイリング・チェック、小テスト 第15回：学校における危機管理（不適切保育の予防）、まとめ 定期試験：筆記		現状を知る（1時間） ・事例を調べる ・保護者の生活を調べる ・問題の理解を深める ・学習したことをまとめる	
【授業の方法】			
講義とグループ演習を組み合わせ、問題事例の改善案を考える。毎時間、授業の振り返りを提出さ			

せチェックしフィードバックする。	
【テキスト】 毎時間、オリジナルテキスト配布。	
【参考書・参考資料等】 『保育現場における困りごと相談ハンドブック』木元有香著 新日本法規 『クレーム対応テキスト』学校保護者関係研究会 『幼稚園教育要領(最新版)』、『保育所保育指針』(最新版) 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』(最新版) 『小学校学習指導要領』(平成29年3月31日 文部科学省) 新聞、ニュース等	
【学生に対する評価】 定期試験の成績(60%)、小テスト(20%)、提出物等(20%)を判断して評価する。ルーブリック評価により自己評価させる。	
【履修上の注意】 実際の保育所・幼稚園の現場に即した学習であるため、実習等の体験に生かしてほしい。	
実務経験の有無：有	実務経験：元公立中学校教諭・教頭・校長
【実務経験を生かした教育内容】 校長等の経験を活かし、学校経営全般に関わることを授業する。	